

歴史民俗資料館だより

第7号

令和6年5月31日刊

民具を守る・伝える・活かす

【特集記事】

資料館は暮らしのタイムカプセル



民具がぎっしりと並んだ歴史民俗資料館の民具収蔵庫。異常がないか、定期的に見回ってチェックします。

民具って何だろう？

「民具」とは、人々の衣食住・生業・信仰といった暮らし（民俗）に関わる道具全般のことです。「民俗資料」と呼ばれることもあります。では、身近にある普通の道具と、文化財としての価値を持つ「民具」は、一体何が違うのでしょうか？

ポイントとなるのは、その道具が持っている様々な「情報」です。いつ頃・どの誰が・どんな場面で・どうやって使っていたのか？このような情報がたくさん付属している民具は、昔の人々の暮らしを知るための資料として価値が高いと言えます。そのため、民具をご寄贈いただく際には、なるべくたくさんの方の情報を得られるよう学芸員による聞き取り調査を行っています。

情報を活かす 台帳づくり

民具を資料館に引き取ってから、調査によって得られた情報をもとに、道具の用途や属性ごとに分類を行い、管理用の番号をつけていきます。このような情報をすべて記録した「民具カード」は、「民具の履歴書」のようなものです。民具カードをつづった台帳は、民具を

活用していくうえで欠かせない存在です。出前講座に持っていく道具を選んだり、企画展示で紹介する民具を決めたりする際には、台帳を片手に収蔵庫をめぐり、収蔵場所や劣化度合の確認を行います。

お引越し大作戦 進行中

これまで、二千点を超える民具は資料館の収蔵庫に加え、北坂戸地区の施設内で保管していましたが、「北坂戸地区まち・くらし再生事業」の進展に伴って、一時的に他の場所へ移動させる必要が出てきました。

民具の中には、消防ポンプ車や水車といった、人の背丈よりも大きいもの・重いものもあります。動かすだけでも一苦労ですが、約一年をかけながら徐々に市内の他施設へと移動を進めていく予定です。

令和6年度 展示情報

会期延長

庁舎内展示「和菓子道具のミシン」

ご好評につき、会期延長が決定！

和菓子店を営んでいた市内のお宅からご寄贈いただいた和菓子道具約二六〇点のうち、和菓子型を中心に二五点を展示しています。多彩な和菓子道具の世界をお楽しみ下さい。

市役所一階ホールにて、令和七年六月頃までを予定しています。（裏に続く）

開催中

上半期企画展示「暮らしを照らす灯り」

資料館で所蔵する民具の中から、
燈明皿や行灯といった「明かりをともし
道具（灯火具）」を選んでご紹介します。
暮らしのスタイルやエネルギーの変化に合
わせて、灯火具が時代ごとに姿を変えてい
く様子をご覧ください。

資料館一階ホールにて、令和六年五月
七日（火）～一〇月一八日（金）を予
定しています。※入場無料
予告

「第二七回 坂戸市埋蔵文化財出土品展」

今年の出土品展のテーマは、大好評だっ
た前年度に引き続き「大古墳展2」。坂戸・
勝呂・三芳野地区の古墳文化について展
示します。

勇福寺遺跡三区の新発見古墳から出土
した、ヨコハケ調整を持つ円筒埴輪をはじ
め、市内の古墳・集落から出土した資料
をご覧ください。貴重な機会です。

またギャラリーBでは、令和三～五年度
に市内各地で行われた発掘調査の成果を
ご紹介します。坂戸市文化会館「ふれあ
い」にて令和六年七月三十一日（水）～八月六
日（火）を予定しています。※入場無料



発掘された新山9号墳の石室



連載 学芸員のイチオシ！

『ミニチュア土器』、手づくねで成形
された小型の土器の総称です。一般
的な壺や甕といった土器と比べて、
手のひらに収まってしまうほど超
小型の土器です。現代のお猪口
のような形をした
ものや、通常の甕
をそのまま小さく
したもの、明ら
かに成形が粗雑
なものなど、実用
的なものから非
実用的なものまで
全国的に出土しています。
写真のミニチュア土器をよく観察して
みると、土器を成形する際に使用した
ヘラやハケの跡が残っており、通常の
土器と同様に器面の調整が行われたこと
が分かります。しかし、なぜ小型の



土器を作っ
たのか、お
祭りの道具
説、子ども
のおもちや
説、土器
づくり
の練習
説などが
ありますが、
はつきりとは
わかっていま
せん。皆さん
はどの説が有
力だと思いま
すか？（渡辺）

（写真は）
勇福寺遺跡三区出土
壺型ミニチュア土器

連載 まちなか 文化財スナップ

今回は、鎌倉街道（森戸地区）を
ご紹介いたします。

鎌倉街道とは、幕府が置かれた鎌倉と地
方をつなぐ中世の主要道路群で、なかでも
武蔵国西部を経由して上野国方面へと向
かう「上道」は重要な道のひとつです。近
年、毛呂山町域における鎌倉街道上道の
遺構が国指定史跡になるなど、その保存・
活用の機運が高まっています。

じつは坂戸市域でも森戸地区を鎌倉街道



西大家駅から高麗川へと向かう鎌倉街道

上道が通過しています。鶴ヶ島市方面から
北上してきた街道は西大家駅の西側で鉄
道と交わり、国渭地祇神社の西側を通っ
て高麗川へ向かう現道と重なります。
森戸地区は鎌倉街道と高麗川が交差

坂戸市立歴史民俗資料館だより 第7号

【発行】坂戸市立歴史民俗資料館
令和6年 5月31日
〒350-0212
埼玉県坂戸市石井 1800-6
TEL 049-284-1052
FAX 049-284-1128

【利用案内】
入館無料・月曜日～金曜日 開館
（祝日・年末年始のぞく）
午前9時～午後4時



する地点にあたっています。街道を北
へと進み、越辺川の渡河地点にあたる
堂山下遺跡（毛呂山町川角地区）では、
発掘調査によつて中世の集落や寺院が発
見され、古文書にも登場する「苦林宿」
にあたると見られています。発掘調査
は行われていないものの、森戸地区にも
同様の中世集落があった可能性は高いで
しょう。街道に面した国渭地祇神社の敷
地内では、中世瓦が出土したと伝えられ
ています。
坂戸市域における鎌倉街道は、大部分
が高麗川沿いの低地部分を通過してい
るため、度重なる河川の氾濫によつて昔の
道筋は分からなくなっていますが、高台
にある駅・神社周辺では今も古道の雰
囲気を体感できます。